

令和5年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立桶川東小学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。
平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

<全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和5年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、原則として全児童

3 調査実施日

令和5年4月18日(火)

4 調査の内容

(国語、算数、理科) 教科に関する調査	・ 小学校調査は、国語、算数とする。 ・ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 ・ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。	
	【小学校 国語・算数 各45分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査	学校に対する調査
	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など
	【20分程度】	

本校の調査結果の概況

小学校

＜教科に関する調査＞ は全国平均正答率を上回ったもの



国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
言葉の特徴や使い方に関する事項	5	79.0	72.8	71.2
情報の扱い方に関する事項	2	63.8	64.4	63.4
話すこと・聞くこと	3	81.3	73.9	72.6
書くこと	1	31.0	26.1	26.7
読むこと	3	73.9	72.5	71.2

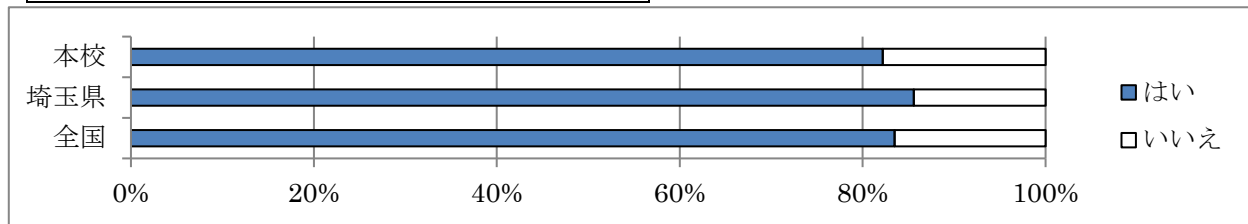
算数				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と計算	6	69.0	67.1	67.3
図形	4	49.8	47.8	48.2
変化と関係	4	70.5	71.0	70.9
データの活用	3	71.6	66.3	65.5

<児童への質問紙調査>（主なものをグラフで表示）

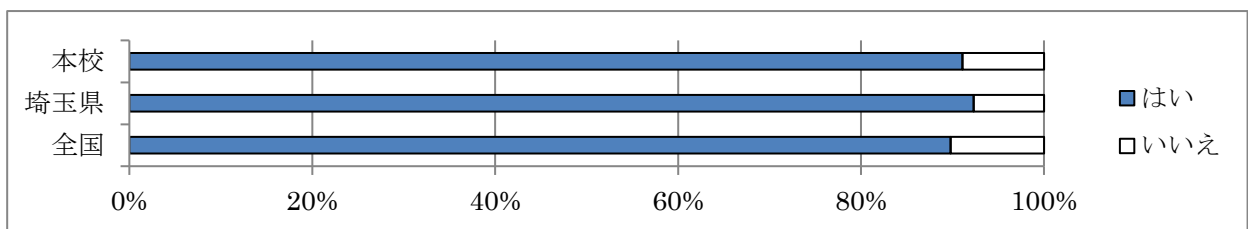
はい…そう思う、どちらかといえばそう思う

いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

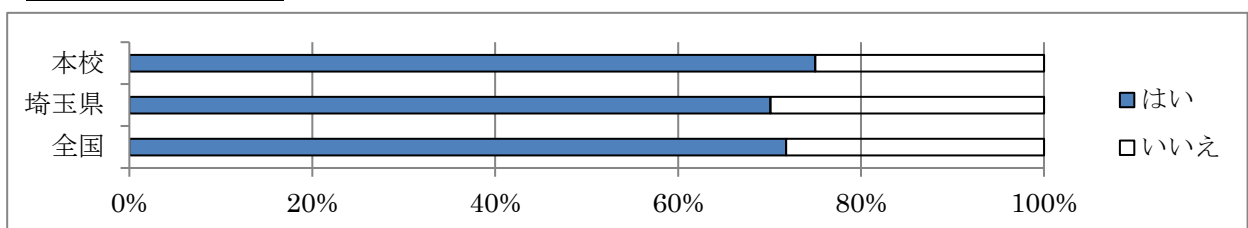
自分には、良いところがあると思いますか。



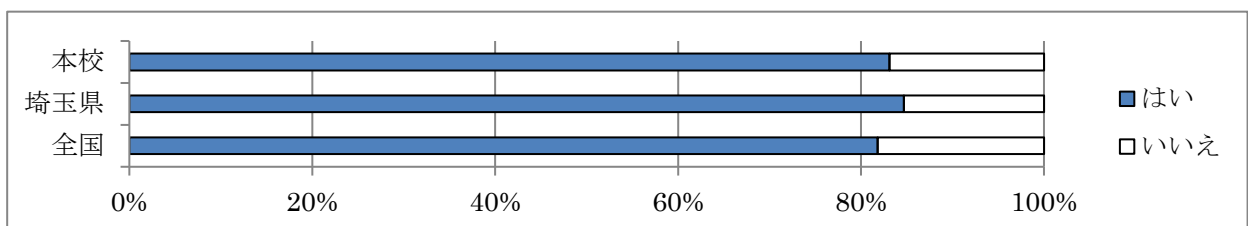
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



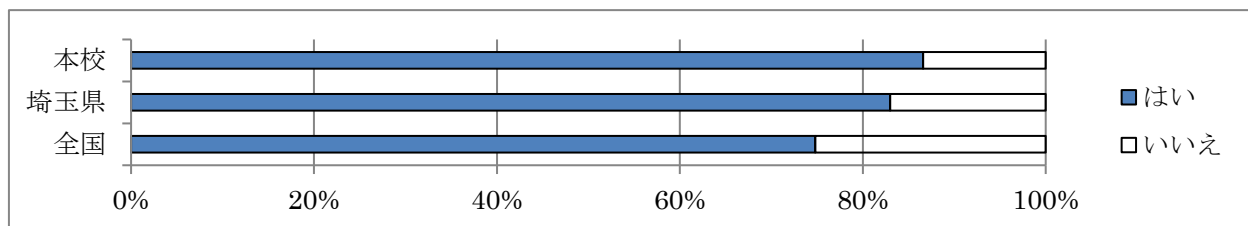
読書は好きですか。



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別】

・全ての領域について、全国平均を上回りました。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」「聞くこと・話すこと」の領域では、6ポイント以上正答率が高い結果となりました。

※「原因と結果」「情報と情報の関連」など関係づけて理解することが苦手としているようです。

※どの設問も、県、国よりも無回答率が低く、児童が最後まで問題を解こうと努力しています。

【問題2ー二】

問題 (事前示された資料から) 読んで分かったことをメモしています。□に当てはまる内容として最も適切なものを選びましょう。

正答 3

この問題は、目的に応じて文章を結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるかをみています。

本校の児童は、解答類型4とした割合が県や国より多く、【資料2】からのみの情報で回答していることがわかります。

示されている情報が、文章や表、図やカードの形式でも、何が書かれているのか情報を分析し、それぞれの関係を整理して理解する力を伸ばすよう指導を行います。

二 相田さんは、「資料1」と「資料2」を読んで分かったことをメモにまとめています。次の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【相田さんのメモ】

◇持久力を高める運動
たぐさんの酸素を取り入れながら続ける
・軽いジョギング
・縄どび（続けてとぶ）

ア

4 3 2 1

◇持久力を高める運動
たぐさんの酸素を取り入れながら続ける
・うで立てふせ

◇持久力を高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・うで立てふせ

◇体のやわらかさを高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・うで立てふせ

◇体のやわらかさを高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・縄どび（続けてとぶ）

<算 数>

【領域別】

・「数と計算」「図形」「データの活用」は、全国及び県平均を上回りました。

・「変化と関係」は、全国及び県平均をやや下回りました。

※どの設問も、おおむね県、国よりも無回答率が低く、児童が最後まで問題を解こうと努力しています。

【問題4（1）】

問題 30%について考えます。割合が30%になるものを2つ選びましょう。

正答 ウとエ

この問題は、百分率で表された割合について理解しているかをみています。

本校の児童は、ウの代わりにアやイを選択している誤答が多く見られた。百分率が示す数字がどのような意味をもっているか具体の場面で捉えられていないことがうかがえます。授業において、発表で出された考えをどんな考えを用いているのかや式の意味、図やグラフとの関わりを考えさせたり、問い返したりすることが重要であり、その数は何を示しているのか理解できるよう指導を行います。

あいちゃんは、毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休息、すいみんが重要であることを学習しました。そこで、インターネットで運動について調べると、下のよう記事を見つけました。



1日に30分以上の運動を、週に3日以上している人の割合は約30%なのですね。

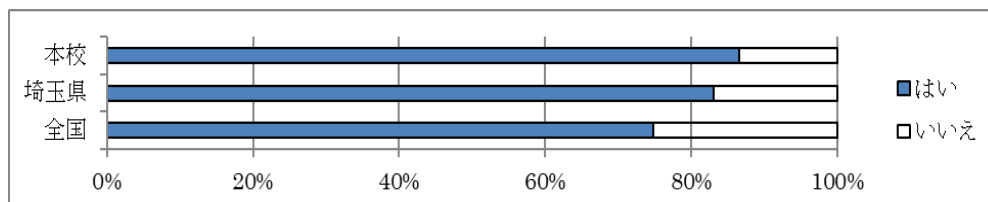
(1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 100人をもとにした0.3人の割合
イ 100人をもとにした3人の割合
ウ 100人をもとにした30人の割合
エ 10人をもとにした3人の割合
オ 30人をもとにした1人の割合

<質問紙調査から>

質問

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。



本校の児童は、学習の中で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する活動ができていることを自覚しています。また、クロームブックなどのＩＣＴ機器は、ほぼ毎日活用しており、情報を自分で集めることができます。一方で、話し合い活動などで自分の考えを深めたり広げたりすることは、突出していません。

今後、国語や算数などの教科指導と関連し、自分の考えや相手の考えを正しく捉え、情報を集め整理することでさらに自分の考えを深めたり広げたりできるような授業を行うことが必要であると考えます。友達と意見を交換することが楽しく、自身の学びを深める上で重要な活動であると実感できる指導を行っていきます。

<埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「令和5年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

2 調査対象

小学校第4・5・6学年 原則として全児童

3 調査実施日

令和5年5月10日（水）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

（2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

本校の調査結果の概況

<教科に関する調査> は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた児童の割合…前年度から学力が伸びた児童の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第4学年			第5学年			第6学年		
教科の領域等	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
言葉の特徴や使い方	17	67.6	68.0	14	65.8	69.3	14	72.3	71.4
情報の扱い方、我が国の言語文化	6	67.8	64.2	7	59.7	61.3	3	52.4	47.7
話すこと・聞くこと・書くこと	5	51.1	51.3	4	62.3	60.0	5	53.0	51.3
読むこと	3	54.4	57.5	6	52.2	51.0	9	52.8	53.8
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑	↑↑↑↑↑		↑↑↑	↑↑↑↑

算数	第4学年			第5学年			第6学年		
教科の領域等	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と計算	13	72.6	71.7	14	61.8	63.4	13	59.8	60.2
図形	6	56.7	56.5	8	55.7	61.3	8	62.9	60.3
4年測定 5,6年変化と関係	6	56.9	56.5	6	59.5	64.2	7	57.9	53.9
データの活用	6	64.7	61.7	4	61.8	63.4	5	50.9	44.3
※学力の伸びた児童の割合					↑↑	↑↑↑		↑	↑↑

＜児童への質問紙調査＞（主な結果：「規律ある態度」に関する項目の結果）

※ 達成率：「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合

上段：県の達成率、下段：本校の達成率、 は８０％以上（％）

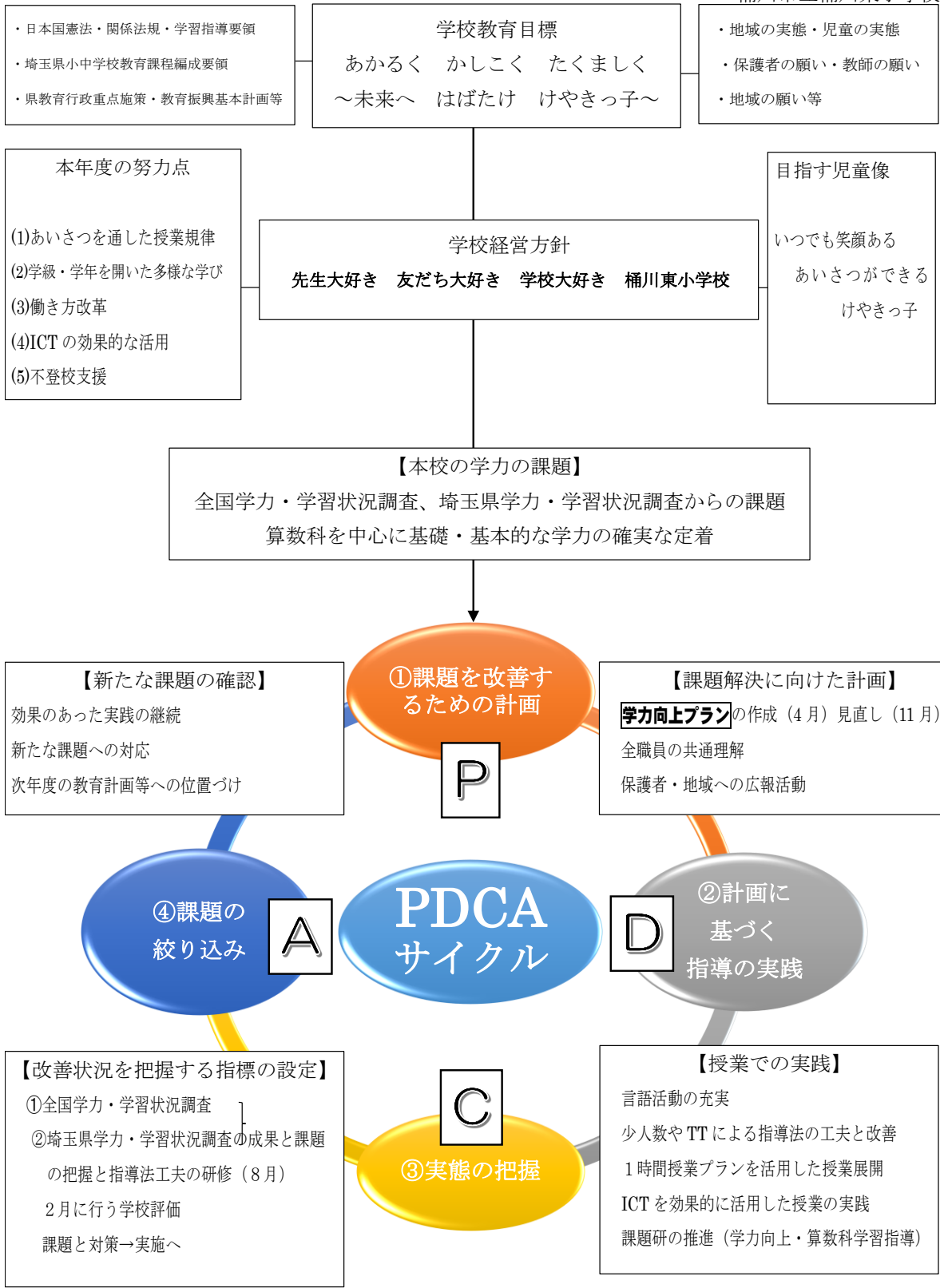
内容	項目	第４学年	第５学年	第６学年
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る			
	① 登校時刻	92.0	93.1	93.9
		97.7	94.0	94.0
	② 授業の開始時刻	90.6	91.9	94.4
		92.3	92.5	94.9
	2 身の回りの整理整頓をする			
	③ 靴そろえ	82.1	81.8	85.8
		85.4	78.4	78.6
	④ 整理整頓	79.3	76.4	77.1
		79.2	74.6	84.6
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする			
	⑤ あいさつ	80.3	77.4	77.7
		85.4	85.8	76.9
	⑥ 返事	90.0	88.1	87.8
		91.5	94.0	96.6
	4 ていねいな言葉づかいを身に付ける			
	⑦ ていねいな言葉づかい	85.7	86.6	88.8
		92.3	91.8	94.9
	⑧ やさしい言葉づかい	86.4	84.7	85.1
		90.0	84.3	86.3
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る			
	⑨ 学習準備	84.6	85.3	86.6
		86.9	84.3	88.9
	⑩ 話を聞き発表する	80.9	77.3	74.4
		80.8	76.1	79.5
	6 生活のきまりを守る			
	⑪ 集団の場での態度	86.7	84.7	85.7
		92.3	82.1	87.2
	⑫ 掃除・美化活動	91.8	89.2	87.9
		96.2	87.3	96.6

本校の学力向上の取組

本校の学力向上プラン

令和5年度 学力向上プラン 全体計画

桶川市立桶川東小学校



授業における取組

☆…成果を上げたと考えられる取組

■…課題を解決するための取組

☆1 指導法の工夫

- (1) 学校全体で各教科のノートの使い方を統一し、同一の流れで授業が進められるよう実践しています。
- (2) クロームブックで画像や動画を提示したり、具体物を活用したりして、内容の理解が深まるように授業を進めています。
- (3) 導入や発問の工夫、クロームブックの活用などで、児童同士の意見の交流や発表が活発に行えるような工夫をして授業を進めています。
- (4) チームティーチングにより、児童にわかるよう細やかな指導を行っています。
- (5) 職員同士で授業を見合い、意見交換をし、授業力の向上に努めています。

☆2 言語活動の充実

- (1) 全ての教科において、ペア、グループ、クラス全体といった様々な形態で意見交流する時間（口頭、クロームブックなど）を確保します。
- (2) 自分や友達の意見をまとめ、ノートやクロームブックなどに書き込む時間を確保します。
- (3) クロームブックで自分の考えを入力できるように、タイピングの練習を行い、タイピング技能の向上を図っています。

■3 学習に対する態度の育成

- (1) 学習の用意や発表の仕方など学習規律を身に付けることで集中して授業に取り組める環境を作り、授業を進めていきます。
- (2) 教員による評価だけでなく、児童自身による自己評価や児童同士による相互評価を行い、学習の自己調整能力や向上心を養います。

授業以外の取組

☆1 家庭学習の習慣化

- (1) 10分×学年は家庭学習の時間を取るよう周知しています。
- (2) 児童の実態に合わせ、宿題の内容を吟味し出しています。
- (3) 家庭学習パワーアップウィークやノートDAYを実施することで、家庭での学び方に対する理解を深めていただいています。

■2 学力向上プランの見直し

- (1) 授業をよりよく進められるように、全国学力学習状況調査や埼玉県学力学習状況調査の結果を分析・考察し、児童の実態を見だし、学習指導の工夫・改善を図っています。

保護者・地域の皆様へ

日頃より本校の教育活動に、ご理解・ご協力いただきありがとうございます。

学力は、継続的に学習活動に取り組むことで身に付きます。本校では、児童の実態を把握したうえで、授業の工夫や改善を進め、学力向上に取り組んでおります。そして、学校の授業以外に、家庭での学習も学力の定着には欠かせません。本校では、学期に1回家庭学習パワーアップウィークを実施し、家庭学習の習慣化を図る取組を進めています。

また、規則正しい生活習慣を身に付け、計画的、自主的に学習する力を育成していくことが、生涯にわたる学習習慣の基礎となります。テレビ等の視聴時間やスマートフォンやゲームの使用時間、SNS等の利用の仕方等、各家庭でルールを決めていただき、健全な活用を進めてください。

これからも児童の学力の向上を目指して様々な取組を進めてまいります。今後も引き続きご理解、ご協力のほど、よろしくお願いします。